

問16 自由記述欄

市政に関するご意見や感想（62件）

番号	年代	性別	ご意見・ご感想	担当課	回答
1	30代	男性	興味がなくて目が行きにくい領域の話だと思いますが、こういったことをしっかりと周知できる状態を作っていただけると非常にありがたいと考えています。	高齢者支援課	ご意見・ご感想をありがとうございます。今後とも、「認知症になっても安心して暮らせるまち我孫子」を目指した施策を進めていきたいと思っています。
2	40代	女性	よく市の放送で「行方不明者の～」を聞きますが、行方不明中の認知症の人を見たことがないので、広報紙などで認知症の人の特徴（どういう状態で歩いているとか普通の散歩の人との違いや声のかけ方）を教えてくださいると助かります。	高齢者支援課	認知症についてはホームページ掲載や、9月世界アルツハイマー月間に合わせた広報掲載をしていますが、今後のご意見いただいた内容も取り入れていきたいと思っています。 なお、認知症の進行の程度や症状は個人差が大きく、認知症のタイプによっても様々です。服装や歩き方等に違和感がなく、一見して認知症の方かどうか分からない場合もあります。そのため、防災無線では、個人が特定されるように、行方不明の方の人相や服装、持ち物などを放送しています。
3	50代	男性	オープンな情報配信をお願いします。	高齢者支援課	ご意見・ご感想をありがとうございます。多くの方に認知症施策を知っていただけるよう、広報や地域新聞・情報誌、ホームページ、チラシ、講演会・講座等、様々な媒体や機会を通じて、普及啓発を進めてまいります。
4	70代	男性	市が実施している認知症施策をPRしてほしい。	高齢者支援課	

5	40代	男性	<p>問12の徘徊探知システムの利用が家族の負担を減らすのではないかと思います。市の助成を検討して欲しいです。</p>	<p>高齢者支援課</p>	<p>市では、認知症による高齢者のひとり歩き（徘徊行動）があった時に、家族がパソコン等の端末から居場所を調べることができる徘徊探知機の貸し出しを行っています。利用料は1か月500円（世帯の生計中心者の市民税が非課税または均等割りのみの場合、もしくは、合計所得金額が125万円以下の場合無料）です。貸し出しの対象となる方は、次のいずれにも当てはまる方です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症による高齢者のひとり歩き（徘徊行動）の症状がある方 ・ 在宅で生活されている方 <p>※65歳未満の若年性認知症の方も対象です。</p>
6	40代	女性	<p>親がなった時の対応の仕方が分からない。自分がなった時の準備が分からない。認知症はとても重要な課題だと思う。今、自分の予防など何か出来る事を知りたい。患者さんに何かお手伝いやどう接するか知りたい。</p>	<p>高齢者支援課</p>	<p>身近な問題として捉えていただいて、ありがとうございます。まずは、認知症について正しく知っていただくことが何よりかと思えます。認知症サポーター養成講座は、認知症に関する基本的な知識や対応を学ぶ講座になっていますので、よろしければご参加ください。開催は広報等でお知らせしております（概ね10名以上の団体は、個別に開催日時等を相談の上、講師を派遣しています）。また、市ホームページでは認知症に関する情報を掲載していますので、ご参照ください。</p> <p>http://www.city.abiko.chiba.jp/kenko/koureishafukushi/seikatsushien/ninchisho.html</p> <p>http://www.city.abiko.chiba.jp/kenko/koureishafukushi/seikatsushien/keapasu.html</p>

7	30代	女性	いざ迷子の認知症の方に出会ったときに、なんと声をかければいいのかわからないので、お知らせメールに例を載せていただくと対応しやすくなると思います。	高齢者支援課	認知症についてはホームページ掲載や、9月世界アルツハイマー月間に合わせた広報掲載をしていますが、今後のご意見いただいた内容も取り入れていきたいと思えます。 あまり身構えることなく、正面から優しく「どうかされましたか?」「何かお困りのことはありますか?」等とお声かけいただければと思います。
8	70代	男性	我孫子市は高齢者の社会活動が盛んであると思う。	高齢者支援課	ご意見・ご感想をありがとうございます。引き続き、高齢者の皆様が活躍しやすい地域になるよう、市として支援してまいりたいと思えます。
9	70代	男性	認知症施策を全く知らないなので、まずは調べて見たい。	高齢者支援課	ご意見・ご感想をありがとうございます。市ホームページでは認知症に関する情報を掲載しています。よろしければご参照ください。
10	60代	男性	このアンケートで、私が認知症についての知見が乏しいと、思いました。 自身も高齢者ですが、やはり心配です。もう少し現状の我孫子市等の取り組み方を認識する必要がある、と感じました。このアンケートは大変有意義です。	高齢者支援課	http://www.city.abiko.chiba.jp/kenko/koureishafukushi/seikatsushien/ninchisho.html http://www.city.abiko.chiba.jp/kenko/koureishafukushi/seikatsushien/keapasu.html
11	30代	女性	「ゆりかごから墓場まで」小学校に年寄りがいって、老人施設に小学生がいるような世代交流ができたらい。	高齢者支援課	ご意見ありがとうございます。子どもたちにとっても、地域のお年寄り等との世代交流は貴重な体験です。保育園・幼稚園等、小学校（学童保育室やあびっ子クラブ含む）などでも、地域の方々にもご協力いただき、世帯間交流を行っています。地域の子どものとの交流や見守り活動を積極的に行っている老人クラブもあります。世帯間交流を促せるよう、様々な活動があることを高齢者に向けて周知していきます。

12	40代	女性	認知症について知識はないですが、自分の親もいつなるかわからないので、とにかく不安です。	高齢者支援課	<p>ご意見・ご感想をありがとうございます。分からないことや予測できないことは、より一層不安に感じると思います。認知症についての知識を得ることで、何に不安を感じるのか、何を知りたいのかがはっきりしてくると、不安なお気持ちも変わっていくと思います。市ホームページでは認知症に関する情報を掲載しています。よろしければご参照ください。また、このeモニターをきっかけに、ご家族でお話しする機会にさせていただけますと幸いです。</p> <p>http://www.city.abiko.chiba.jp/kenko/koureishafukushi/seikatsushien/ninchisho.html</p>
13	40代	男性	高齢者世帯へテレビ電話（家族と話せる）できる環境のサポート（導入手伝いや費用の補助）があってもいいかなと思う。すでにある制度かもしれないですが。	高齢者支援課	<p>ご意見ありがとうございます。現在、我孫子市では、遠隔地にいるご家族とテレビ電話等をするための環境整備のための支援は行っておりません。新型コロナウイルス感染症の影響で、身近な人とこれまでのように直接会ってコミュニケーションをとる機会が減っている方もいらっしゃると思います。必要な方には地域での見守り活動や安否確認のサービスなどをご紹介させていただきます。</p>

14	40代	男性	医療、介護連携強化、介護事業者連絡協議会含め末端に浸透させなければならない。また地区ごとに課題は異なるので、包括、民生委員、協議会、見守り、介護事業者等含め垣根を超えた連携や事例検討が必要と感じています。目先の利益や企業体質を振り解いて人と人が繋がり、認知症の人を見守る仕組みづくりが必要です。	高齢者支援課	ご意見ありがとうございます。様々な分野、様々な機関の連携強化は非常に重要であり、定期的な協議会や連携会議、研修会の開催、随時の報告・連絡・相談、事例検討等を今後も推進してまいります。 我孫子市には6つの日常生活圏域（中学校区）がありますが、地域の中のささえあいに関する活動の充実、地域課題の抽出やニーズの把握、サービスの創出を、それぞれの地域に合った形で推進していく仕組みづくりをすすめています。
15	40代	女性	まだまだ認知症のことは知らないことが多いですが、自分が高齢になったときにできるだけ周りに迷惑をかけず幸せに暮らすためには、今のうちからいろいろなことを知っておく必要があると感じました。	高齢者支援課	ご意見・ご感想をありがとうございます。市ホームページでは認知症に関する情報を掲載しています。よろしければご参照ください。
16	80代	男性	まだ認知症の知識・自覚が薄くコメントできない。	高齢者支援課	http://www.city.abiko.chiba.jp/kenko/koureishafukushi/seikatsushien/ninchisho.html
17	40代	女性	市での認知症施策がこんなにもたくさんあることまったく知りませんでした。私自身は認知症の理解が浅いため、今後気軽に知識を深められるような機会があればいいなあと感じました。	高齢者支援課	http://www.city.abiko.chiba.jp/kenko/koureishafukushi/seikatsushien/keapasu.html
18	70代	男性	当市の高齢化率が30%近いことから市民活動支援とか高齢者支援とか健康づくり支援とかを縦割りではなくまとめて対応して行く組織化が必要ではないかと感じて居ます。まちづくり協議会または自治会などと協働して元気な老人で認知症から逃げ切れるように働きかけて行く施策が大切かなと思います。私の地区ではその為に「ありがとうと言われる老人になろう」をスローガンにして活動しています。何か出来ることで人の役に立ちありがとうと言ってもらおうという厚労省審議官の話からパクリました。	高齢者支援課	ご意見・ご感想をありがとうございます。素敵なスローガンですね。市役所内の各専門部署、まちづくり協議会、自治会など、様々な機関が協働していくことはとても重要だと思っております。今後も連携を図ってまいります。

19	60代	男性	高齢者支援課という組織があることさえ知らなかった。何を する組織なのか、もっとアピールして欲しい	高齢者支援課	ご意見ありがとうございます。 高齢者支援課では、高齢者の方の総合相談や介護予防、認知症を含む高齢者の施策、高齢者の日常生活を地域で支え合う仕組みづくり、介護認定調査、介護保険に関する業務などを行っています。皆様に知っていただけるため、さまざまな機会を活用し、広報活動を行ってまいります。
20	50代	女性	認知症になると家族介護がとても大変だと思います。福祉のサポートを持った金銭的な面でしてあげることはいませんか？ なににしてもお金は必要であります。	高齢者支援課	ご意見ありがとうございます。 現在我孫子市では、金銭的な部分での補助は行っておりませんが、認知症による高齢者のひとり歩き（徘徊行動）があった時に、家族がパソコン等の端末から居場所を調べることができる徘徊探知機の貸し出しや、発見者をご家族と早期に連絡をとることができる「認知症高齢者等見守りシール交付事業」を実施しています。徘徊探知機の貸し出しは月額500円（所得の状況によっては無料）、見守りシールについては無料で交付しています。
21	50代	男性	高齢の親とは市内で別居しています。親が「迷惑をかけるのでは」という想いで一人暮らしをしています。時折会って確認しますが、軽微な変化はなかなか把握できません。通院している病院は知っていますが、そこで定期的に認知症に対する確認や検査を行い、近親者に連絡をするシステムがあると安心感が高まります。今の時代、中高年までは共働きでないと生きていけませんので、どうしても親の状態の確認を疎かにしがちです。少しでも安心する社会は共助だけではないと思うのです。公助面でかかりつけ医の認知症簡易検査的なもので対応を出来る体制ができれば、本当の意味で安心できる社会になるとと思いますが。	高齢者支援課	ご意見ありがとうございます。 定期的な検査や健康診査は、早期発見に重要なことと認識しております。市では、特定健康診査や長寿健康診査、国民健康保険短期人間ドックを受診された方には、認知症自己チェックリストの配布を行っています。また、脳ドック（MRIおよびMRAを同時に実施する検査）受診時の費用の一部を助成しています（当該年3月末時点で40歳以上で5の倍数の年齢の方が対象）。 また、認知症かどうかという点だけでなく、日常生活に支障がないかという点も重要なことです。日頃は、心身の健康や認知症に関することなどを話題にする機会は少ないかもしれませんが、このような健康診査等をきっかけにして、ぜひ親御様だけでなくご家族全員のこととしてお話する機会にさせていただけますと幸いです。

22	30代	男性	<p>認知症は身近な問題だと危機感を煽って高齢者に何かすることを一方的に若い世代に求めても響かない。まずは、何かすることを動機づけすることから始めるべき。身近にいる人に対しては積極的に行動しようとするように、関係性の強化は動機づけとしては非常に効果的。「困ったときに助けてもらった」「自分たちが住みやすい環境作りをしてきている」、恩が少しでもあれば、恩を返そうと動機づけすることも可能。「ありがとう」の感謝の一言でも動機づけは可能。方向性さえしっかり決めれば動機づけは簡単にできるため、まずはここから始めてください。</p>	高齢者支援課	<p>誰もが生涯にわたり、住みなれた地域で安心して暮らしていただけるため、地域に住む人々の支えあいや見守り活動の推進を引き続き実施してまいります。また、我孫子市の地域の中に、認知症の方やご家族を温かく見守る応援者の輪を広げていくために、認知症サポーター養成講座の充実も図っていきたいと思います。</p>
23	70代	男性	<p>高齢者が増加していく中で、問12の市が行っている認知症施策の認知度を上げる必要性を感じた（私の知らないことが多かった）。</p>	高齢者支援課	<p>ご意見・ご感想をありがとうございます。多くの方に認知症施策を知っていただけるよう、広報や地域新聞・情報誌、ホームページ、チラシ、講演会・講座等、様々な媒体や機会を通じて、普及啓発を進めてまいります。</p>
24	70代	男性	<p>認知症患者は増加することはあっても、減少することはないと思う。認知症を家族に持つ場合、他人に知られたくないのがい通常であろう。発症した場合専門医につなぐのは勿論であるが、事前の相談相手として、高齢者何でも相談室や民生委員の中に認知症に特化した人員を配置したらいかがでしょう。守秘義務がたいへん大切であると思う故に。</p>	高齢者支援課	<p>市では、認知症に関する相談を専門的に対応するとともに支援機関の情報提供や各機関の連携を図る「認知症地域支援推進員」を高齢者なんでも相談室へ配置し、相談しやすい体制づくりに取り組んでいます。また、民生委員と随時開催する会議の中で、認知症に関する相談を受けた際は、高齢者なんでも相談室に繋いでいただけるよう連携をはかっています。安心して相談いただけるように、今後とも留意してまいります。</p>

25	70代	女性	<p>高齢者の一人暮らしが増えているので、地域で声を掛け合うとか、一人一人の小さな思いやりが必要なのではないかと思います。また高齢者でも元気な方の能力が発揮できるような場があればよいのではないかと思います。</p>	<p>高齢者支援課</p>	<p>ご意見いただいたように、1人1人の思いやりが、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを送ることに繋がると思います。市では、地域の中のささえあいに関する活動の充実、地域課題の抽出やニーズの把握、サービスの創出を、それぞれの地域に合った形で推進していく仕組みづくりをすすめています。</p> <p>また、お元気な高齢者の方がボランティア活動を通して積極的に社会参加し、社会貢献することを支援するとともに、高齢者自身の自発的な健康づくりを推進しています。高齢者支援課では、各地域で行っている「きらめきデイサービス事業」や「老人クラブ」での活動、働く場として「シルバー人材センター」のご紹介なども行っていますので、ご興味ございましたらお問い合わせください。活動意欲がある高齢者の方の活躍の場に広くつながるよう、ボランティア市民活動相談窓口とも協力して対応していきます。</p>
----	-----	----	---	---------------	--

26	60代	女性	<p>認知症サポーターの講習会を受けた事があるのですが、現在主人がパーキンソンからの認知症が少しずつあり、講習会では他人事で、実際身内がなると講習会で受けた事が役に立たなく、私自身の葛藤があります。どのようにしたらよいか、これからの不安もあります。お話会があればよいと思います。</p>	高齢者支援課	<p>ご家族としてのお悩みや葛藤をお察しいたします。市では、認知症の方を介護しているご家族や介護経験者を対象に、家族の交流や情報交換を行っています。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予約制・定員制で行っておりますが、よろしければご参加ください。</p> <p><認知症の方の家族のつどい「あびこ」> 会場：けやきプラザ、日時：偶数月の第2水曜日、午後1時30分から 申込時期など：広報・ホームページをご覧くださいか高齢者支援課（電話：7185-1112）までお問い合わせください。 http://www.city.abiko.chiba.jp/kenko/koureishafukushi/seikatsushien/ninchisho.html</p> <p>また、個別のご相談も随時受けておりますので、高齢者支援課や各地区高齢者なんでも相談室へのご連絡をお待ちしています。</p>
27	80代	男性	<p>認知症の施設、充実</p>	高齢者支援課	<p>認知症にも様々な状態があり、おひとりおひとりの症状により受入れが可能な施設が異なります。また、ご本人やご家族、介護される方等の意向によっては、在宅介護の支援が求められる場合があります。どのような施設を整備すべきか、市では、施設の利用状況や3年に一度行う介護保険事業計画策定時に実施するアンケート結果や我孫子市介護保険市民会議における委員からの意見聴取等により、必要となる施設を計画し整備していきます。</p>

28	40代	女性	<p>ご近所に高齢一人暮らしの方が多くお住まいですが、全くコミュニケーションをとる事が無く、何か地域で出来る事は無いのか、と思うが自分では分からないでいます。</p>	高齢者支援課	<p>高齢者の方に思いをさせていただき、ありがとうございます。特別なことをしなくてはいけないということはないと思います。道に迷っていそうな方がいればお声かけしたり、踏切や横断歩道に戸惑っていればさりげなく一緒に渡ったり、介護をしている家族の愚痴を聞いたりする等、簡単に無理なくできそうなことを、できる時にしていただけることが大きな支援になります。</p> <p>また、今後、認知症の方やご家族と身近に接する機会は十分起こりえます。その際、例えば、認知症について正しく理解し、偏見を持たずに普段と変わらないおつき合いをすることは、ご本人やご家族にとって安心につながります。買い物の会計時に手間取っている方がいても、イライラせずに対したり、ご家族が恐縮していたら「おたがいさまですから」と優しく返していただける一言があるだけでも、ご本人とご家族はずっと気楽に外出できるはずですよ。</p>
29	30代	女性	<p>認知症サポーターについては少し興味が湧いたので知ることができてよかった。</p>	高齢者支援課	<p>ご意見・ご感想をありがとうございます。我孫子市の地域の中に、認知症の方やご家族を温かく見守る応援者の輪を広げていきたいと思っています。よろしければ、認知症サポーター養成講座もご参加ください。開催は広報等でお知らせしております（概ね10名以上の団体は、個別に開催日時等を相談の上、講師を派遣しています）。</p>
30	30代	女性	<p>よく放送で行方不明の人のお知らせがあるのは良いことだと思った。見つかったかどうかをお知らせしてくれるのも良いと思う。我孫子に引越してくる前、都内にいた時は行方不明者の放送はなかったのです。</p>	高齢者支援課	<p>ご意見・ご感想をありがとうございます。放送を聞いて、気にかけて探して下さったりする皆様のご協力・ご支援に感謝申し上げます。</p>

31	60代	女性	<p>市が実施している認知症施策が、こんなに沢山あることを知りませんでした。今は新聞を購読している方が少なくなり、我孫子市の広報を見る方も減少してきていると思いますので、認知症に関する情報相談窓口等回覧板で皆がわかるように自治会に詳細を知らせてほしいです。</p>	高齢者支援課	<p>ご意見・ご感想をありがとうございます。多くの方に認知症施策を知っていただけるよう、広報だけでなく、地域新聞・情報誌、ホームページ、チラシ、講演会・講座等、様々な媒体や機会を通じて、普及啓発を進めてまいります。</p> <p>なお、我孫子市では、新聞を購読しておらず広報紙がご自宅に届かない方には宅配を行っており、新聞折込や宅配で、約7割の世帯の方に広報をお届けしています（電話申込は広報室7185-1269）。また、アプリでも広報を配信しています。</p>
32	40代	男性	<p>困ってそうなときには声をかけるので、認知症の方を分かるようにしてほしい</p>	高齢者支援課	<p>認知症の診断を受けてから受容するまでには、さまざまな心理的な段階があり、時間がかかることも多くあります。また、ご本人の尊厳や人権にもつながることですので、一概に『認知症の方を分かるようにする』ことは適切ではないと考えております。認知症の有無にかかわらず、不安そうな表情や迷われたりしている方がいらっしゃったら、「どうかされましたか？何かお困りですか？」等とお声かけいただければと思います。</p> <p>なお、市では、認知症によるひとり歩き（徘徊行動）がみられる高齢者等が保護された際に、発見者がご家族と早期に連絡をとることができる「認知症高齢者等見守りシール交付事業」を実施しています。このシールを身につけた方がお困りのご様子でしたら、正面から優しく声をかけてお話ししてみてください。また、シールのQRコードをスマートフォン等で読み取っていただくと、ご家族に自動的にメール送付され、インターネット上の伝言板で連絡を取ることができます（互いに個人情報は開示されません）。</p>

33	30代	女性	認知症外来のある病院が知りたい。また、認知症外来のある病院を増やして欲しい	高齢者支援課	<p>市内では認知症の診療を行う医療機関が21機関あります（令和2年3月末時点）。詳細は下記をご参照ください（認知症ケアパスの3ページ目に掲載しています）。</p> <p>http://www.city.abiko.chiba.jp/kenko/koureishafukushi/seikatsushien/keapasu.html</p> <p>また、認知症の専門医療相談を行う認知症疾患医療センターは下記のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北柏リハビリ総合病院（柏市、電話：04-7110-6611） ・旭神経内科リハビリテーション病院（松戸市、電話：047-330-6515） <p>認知症の相談や診療を行う医療機関が増えていくことは重要なことですので、随時、情報提供を行ってまいります。</p>
34	30代	女性	若年性や外見が若く見える高齢者の認知症の場合、普通に会話もできるので、なかなか判断が難しい。人によっては感情のコントロールができなかったり被害妄想などがある場合も多いので、よく事情を知っている身内以外、なかなか関われない。以前認知症施設で介護研修を受けたことがあるが、穏やかだと思ったら突然杖を振り上げたり大声を出したりされて恐怖を覚えたことがある。市は、若年性を含めた認知症の介護施設を早めに作るべきだと思う。認知症患者も苦しいと思うけど、家族もかなり精神的にきついと思う。	高齢者支援課	<p>認知症にも様々な状態があり、おひとりおひとりの症状により受け入れが可能な施設が異なります。またご本人やご家族、介護される方等の意向によっては、在宅介護の支援が求められる場合もあります。どのような施設を整備すべきか、市では、施設の利用状況や3年に一度行う介護保険事業計画策定時に実施するアンケート結果や会議での意見聴取等により、必要となる施設を計画し整備していきます。</p>
35	40代	女性	自分の親もよい歳なので、このようなアンケートは、改めて意識する良いきっかけだと思います。市で色々な取り組みをされていることを知り、心強く思います。	高齢者支援課	<p>ご意見ありがとうございます。今後とも、「認知症になっても安心して暮らせるまち我孫子」を目指していきたくと思います。</p>

36	50代	男性	脳梗塞や認知症など身近に増えている気がする。自分達も年齢が増すにつれ不安感が出てくる。安心して気軽に行ける場所があればと思います。	高齢者支援課	<p>安心して相談いただける場所として、ぜひ高齢者支援課や各地区高齢者なんでも相談室をご利用ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我孫子市高齢者支援課（電話：7185-1112） ・我孫子北地区高齢者なんでも相談室（電話：7179-7360） ・我孫子南地区高齢者なんでも相談室（電話：7199-8311） ・天王台地区高齢者なんでも相談室（電話：7182-4100） ・湖北・湖北台地区高齢者なんでも相談室（電話：7187-6777） ・布佐・新木地区高齢者なんでも相談室（電話：7189-0294）
37	40代	女性	義母が認知症で施設に入っているが、一切を義父が担っており関知しなくていいと言われているので病状や費用など全く知らない。我孫子市での制度なども知らないなので、これでは将来的に自分や他の家族が認知症になった時にどうすればいいかわからないので、自身でさまざま学んでいきたいと考えている。	高齢者支援課	<p>ご意見・ご感想をありがとうございます。市ホームページでは認知症に関する情報を掲載しています。よろしければご参照ください。</p> <p>http://www.city.abiko.chiba.jp/kenko/koureishafukushi/seikatsushien/ninchisho.html</p> <p>http://www.city.abiko.chiba.jp/kenko/koureishafukushi/seikatsushien/keapasu.html</p>
38	60代	男性	マンション所有者が認知症になり、組合費の振込、議決権行使など組合員としての義務が果たせなくなった時の法的対応、行政のサポートの明確化と啓蒙をお願いしたい。	高齢者支援課	<p>認知症などの理由で判断能力が不十分な方々の財産管理や契約を補助したり代理したりすることによって、安心して生活できるように支援し、権利とくらしを守る「成年後見制度」があり、ご相談は高齢者支援課や各地区高齢者なんでも相談室でもお受けしております。</p> <p>より多くの方に知っていただけるよう、制度についての普及啓発については引き続き取り組んでまいります。</p>

39	40代	男性	<p>今まで市の認知症対策はほとんど知りませんでした。アンケートを機に勉強いたします。認知症等で日常生活に困難を抱える方やその介助者は、様々な「暮らしにくさ」を感じるがあると思います。どんな些細なことでも良いので、日々感じる「暮らしにくさ」を市が収集し対策に役立てたり、市民が自ら手助けを求める仕組みを構築していかがでしょうか。高齢で排水溝の掃除が出来ずに困るとか、身体が不自由でバス停にベンチがあったらいいなとか。一昔前よりも地域のお困りごとが見えにくくなっている。困難を抱える人とその周辺だけで悩み、我慢して生活しているように思います。</p>	高齢者支援課	<p>我孫子市では介護保険計画策定のために、3年に1回高齢者の方を対象に、ニーズを把握するためのアンケート調査を行っています。さらに、市民の皆様から日々寄せられる相談やご意見をもとに、サービスの向上や内容の検討を行っています。</p> <p>また、我孫子市内の6つの日常生活圏域（中学校区）で、地域の中のささえあいに関する活動の充実、地域課題の抽出やニーズの把握、サービスの創出を、それぞれの地域に合った形で推進していく仕組みづくりをすすめています。地域の中での困りごとを地域の中でささえあえる仕組みづくりに、市もバックアップして取り組んでいきます。</p>
40	60代	女性	<p>3年前に他県に住む親が突然認知症になり市内の施設に入所させました。昼夜間わずの呼び出しがあり大変でしたが介護士と共に頑張りました。又行政の力も借りました。市役所は専門職の方が多く頼りになります。介護は家族の負担が大きいですから気軽に話せる場所の確保をお願い致します。</p>	高齢者支援課	<p>突然のことで大変だった心中をお察しいたします。認知症は一般的には少しずつ進行すると言われていますが、個人差が大きく、日常生活に支障が生じた際は、早急な対応が必要になってきます。ご本人やご家族だけで対応することは非常に難しいため、ぜひ、市役所を含めた専門職の相談をご利用いただきたいと思います。気軽にご相談いただけるよう、今後も高齢者支援課や各地区高齢者なんでも相談室の相談体制を充実させてまいります。</p>
41	50代	女性	<p>福祉の充実をお願いします</p>	高齢者支援課	<p>ご意見ありがとうございます。住み慣れた地域で安心して暮らしていける地域社会を目指して、市役所全体で協力して、福祉の充実に努めてまいります。</p>

42	70代	男性	<p>高齢者イコール認知症の前提で話が進められています。自動車運転免許証更新時の扱い然り、健康保険の扱い然り。前提が間違っていると物事に対する考え方や対策が間違ってきます。新型コロナウイルスと同じく認知症も年齢に関係ない病気であるという前提で話を進めて頂きたい。発症原因や治療法がわからないから加齢に逃げているとしか思えません。ちなみに私の母は現在103歳で体は衰えてきてはいますが、言葉や動作での対応はしっかりしています。認知症の定義をよく理解していないので認知症か否かの判断はできかねますが・・・。</p>	高齢者支援課	<p>年齢の増加と共に、認知症と診断される方が増加する傾向にありますが、必ずしも高齢者＝認知症ではないと認識しています。認知症の定義は様々ですが、病気やケガなどによって脳細胞が失われ、記憶や理解、判断などの認知機能が低下し、日常生活に支障が出ている状態をいいます。</p> <p>高齢となってもできるだけ元気な生活を送ることができるよう、健康寿命の延伸を図る介護予防の取り組みや、認知症の早期診断・早期対応のシステム構築に取り組むとともに、病気を患ったり、心身が不自由になったり、認知症といった状況になったとしても、様々な介護サービスの利用や地域に住む人々のささえあいにより、日常生活を送ることが可能となるしくみづくりに取り組んでまいります。</p>
43	30代	女性	<p>祖父母が認知症で、母が面倒を見ていますがとても大変なのを身近にみえています。介護する側のケアもとても大切と感るので、相談できる窓口の認知を増やしたり、精度を上げて助けになったらいいとおもいます。若い人と高齢者との関わりも、増えていくと思うので若いうちから抵抗なく接していけたらいいと感じます。</p>	高齢者支援課	<p>ご意見・ご感想をありがとうございます。今後も高齢者支援課や各地区高齢者なんでも相談室の周知や、相談体制の充実・職員の資質向上に取り組んでまいります。</p>

44	60代	女性	<p>自治会、町内、に於いて、認知症??と疑うような方々について、聞く事が増えました。ご自分・ご家族でも分かっていたり、その反対に、全くご家族やご本人が気付いていなかったり……します。気付いていない人に対しては、どのように接したら良いか?、知りたいです。何故ならば、当のご本人に、自治会のお役が輪番で廻って、当のご本人から同じ事を執拗に問い質されると言う事態が有るからです。回りの人々は、辟易します。対処に困ってしまいます。</p>	高齢者支援課	<p>まずは、認知症について正しく知っていただくことが何よりかと思えます。認知症サポーター養成講座は、認知症に関する基本的な知識や対応を学ぶ講座になっていますので、よろしければご参加ください。開催は広報等でお知らせしております（概ね10名以上の団体は、個別に開催日時等を相談の上、講師を派遣しています）。また、対応について、個別にご相談にのっておりますので、高齢者支援課や各地区高齢者なんでも相談室をご利用ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我孫子市高齢者支援課（電話：7185-1112） ・我孫子北地区高齢者なんでも相談室（電話：7179-7360） ・我孫子南地区高齢者なんでも相談室（電話：7199-8311） ・天王台地区高齢者なんでも相談室（電話：7182-4100） ・湖北・湖北台地区高齢者なんでも相談室（電話：7187-6777） ・布佐・新木地区高齢者なんでも相談室（電話：7189-0294）
45	40代	女性	<p>高齢者がどんどん増えているので、何かしらちょっとしたマニュアルみたいなものがあれば、日常で出会った時にちょっとした手助けができるのかなとも思います。</p>	高齢者支援課	<p>高齢になると、聴力の低下（聞こえにくい）、視機能の低下（見えにくい、視野が狭い、色が全体にぼやける）、筋力の低下（動作がゆっくり、つまづきやすい）、知覚の低下（感覚が鈍くなる）など、身体・生理的機能の低下が生じやすくなってきます。</p> <p>例えば、お声かけする時は後ろからではなく正面から行う、穏やかにはっきりした話し方でお話しする、相手の言葉に耳を傾けてゆっくりと対応する、紙面に大きく書いてお見せする、などといった対応をしていただけると分かりやすいのではないかと思います。</p>

46	40代	男性	<p>認知症の方の迷子の放送は反射がひどくて聞こえない。結果としてどこまで効果あるのか？放送で見つかったデータがあれば示してほしい。</p> <p>欧州のようにGPSは付けるが束縛せず自由に過ごしてもらうで良いのではないか。</p>	高齢者支援課	<p>放送によって見つかった方の総数は統計としてとっていませんが、我孫子警察より、個別の事例として、市民の方が放送で聞いた特徴をもとに通報していただき保護に至ったケースがあった旨の報告を複数受けています。職員一同、放送時にはできるだけ聞き取りやすい話し方を心掛けたいと思います。</p>
47	30代	女性	<p>市内で行方不明になる方が多くて心配ですが、日頃から周りの方との関わりが深ければ防げるのかなと思います。認知症は予防が第一だと思うので、病院や薬局での啓蒙などするといいと思います。</p>	高齢者支援課	<p>ご意見・ご感想ありがとうございます。住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、地域の中でのささえあいに関する活動を推進してまいります。</p> <p>市では、認知症ケアパス（認知症の予防から介護・ケアまで役立つ情報を掲載したリーフレット）や認知症市内医療機関や、行政サービスセンター、近隣センター、市内公共施設等に配架したり、高齢者の方への訪問時にお渡ししております。今後も、広報や地域新聞・情報誌、ホームページ、チラシ、講演会・講座等、様々な媒体や機会を通じて、認知症の普及啓発を進めてまいります。</p>
48	70代	男性	<p>GPS機能の活用はどこまで進行しているのでしょうか？</p>	高齢者支援課	<p>認知症の方の支援事業として、認知症による高齢者のひとり歩き（徘徊行動）があった時に、家族がパソコン等の端末から居場所を調べることができる徘徊探知機（GPS）を貸し出ししており、令和2年9月末現在で16名の方が利用されています。</p>

49	40代	男性	認知症が治ったら復業できるとしたら、市が積極的に取り組むことに賛同する。ただの延命措置なら、家族や現役世代の金銭的・肉体的・精神的負担を和らげるように取り組んでほしい。私が患者なら、延命ではなく回復を望む。	高齢者支援課	現在、認知症を根本的に治す薬はありませんが、神経細胞を刺激して活気がでたり、神経の伝達を良くしたり、興奮やイライラを抑える作用の薬があり、早期相談・早期受診につながる事が重要です。また、ご本人を理解し支える周囲の人の関わりや環境を整うことで、ご本人が今できる仕事を続けたり、元々担っていた役割をはたしやすくなります。認知症の進行を遅らせることにもつながり、ご家族と一緒に長くより良い生活を送ることが期待され、ご家族の負担軽減にもつながっていきます。このような、ご本人とご家族の負担や不安の軽減につながるような施策となるよう、今後も取り組んでまいります。
50	40代	女性	認知症の家族を、支える介護者の話をしっかり聞いて、対応してほしい。	高齢者支援課	ご家族の方の悩みや思いなど、お話を十分にうかがいながら、ご相談にのってまいりたいと思います。 また、同じ介護者の立場だからこそ、気持ちを言い合ったり、気楽に話したり相談したりしやすいこともあるかと思います。市では、認知症の方を介護しているご家族や介護経験者を対象に、家族の交流や情報交換をするつどいを開催しており、この事業の普及啓発もすすめていきたいと思っています。
51	20代	女性	まだ身近で認知症を発症した人がおらず、私自身の認知症に対する知識が乏しいと感じました。 ただ、市では認知症に対する取り組みが多くあることがわかったので、今のうちに勉強しておきたいと思いました。	高齢者支援課	ご意見・ご感想をありがとうございます。市ホームページでは認知症に関する情報を掲載しています。よろしければご参照ください。 http://www.city.abiko.chiba.jp/kenko/koureishafukushi/seikatsushien/ninchisho.html http://www.city.abiko.chiba.jp/kenko/koureishafukushi/seikatsushien/keapasu.html

52	30代	男性	<p>我孫子市で過ごしていると年配の方々の活動的な姿をよく目にする。認知症予防として、そのような年配の方々と地域の子供との触れ合いのイベントがもっとたくさん開催されると良いと思う。年配の方々にとってもメリットが多く、子供の数が多い我孫子市の教育力を考える上でも、仕事をリタイアされた方々の教育力をもっと活用すべきである。また、もっと地域の大学なども巻き込んでイベントを開催すれば、内容的にも充実するのではないかと思う。</p>	<p>高齢者支援課</p> <p>ご意見ありがとうございます。 オレンジカフェ（認知症の方・ご家族、誰もが気がねなく過ごせるカフェ）では、子ども食堂を兼ねたり、キッズサポーター（認知症サポーター養成講座を受講した市内小学生）が活躍したり、地域の夏祭りに出店したりするなどして、様々な世代と交流する機会をもうけています。現在は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年のような開催が難しいところではありますが、今後もこのようなイベントの開催を後押ししていきたいと思っています。</p>
				<p>指導課</p> <p>学校支援地域本部の活動では、学校支援ボランティアとして、子どもたちへの読み聞かせや学校の環境整備、学習支援など、多くの地域の方々にご活躍いただいております。また、長寿大学と連携し、小・中学校の昔遊びの会や戦争体験の講話などにおいて講師としてお招きするなど、ご協力をいただいております。今後とも、我孫子市の子ども達のために様々な場面でご協力いただきたいと思いますと考えております。</p>
				<p>生涯学習課</p> <p>生涯学習課主催の長寿大学では市内小学校へ「昔の遊びや暮らし」の学習支援活動や長寿大学生自らが地域でのボランティア活動を実施しております。また、出前講座や生涯学習人材情報では多くの高齢者の皆様に講師登録をしていただいております、様々なジャンルで活躍しています。</p>

53	50代	女性	<p>1.2時間くらいかかるところに親が住んでいる。衰えてきたので最近週に1度は行っているが、大変。ショートステイとか臨時に使えると安心かも、と思ったりする。親の住んでいる自治体とこちらの自治体の連携がスムーズだといいなと思う。</p> <p>2.高齢者ドライバーが危険な運転をしているのを見かけることがしばしばある。ウインカーを出さないと曲がるとか、反応が遅いとか、判断の誤りなど。車でないと生活が不便なところの方は特に免許返上が難しいかもしれないが、家族がいても聞かないので、高齢者ドライバーの危険な周知を本人や家族双方に広める、利用しやすい交通手段の確保などが必要と強く感じる。</p>	<p>高齢者支援課</p> <p>離れた場所にお住まいですので、ご心配のこととお察しいたします。1～2日程度の短期宿泊については、介護保険上に、介護予防短期入所生活介護（ショートステイ）と、介護予防短期入所療養介護（医療型ショートステイ）というサービスがあります。すでに要介護認定を受けられてサービスを利用している場合には、担当ケアマネジャーがサービスの調整を行いますので、ご相談いただくことが一番かと思います。介護認定を受けられていない場合は、お住まいの地域の自治体や地域包括支援センターにご相談いただくとうよろしいかと思います。なお、介護保険サービスの申請はご本人の住所地がある自治体で行っていただく必要がありますが、ご相談は我孫子市の高齢者支援課や各地区高齢者なんでも相談室でもお受けしておりますので、よろしければご利用ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我孫子市高齢者支援課（電話：7185-1112） ・我孫子北地区高齢者なんでも相談室（電話：7179-7360） ・我孫子南地区高齢者なんでも相談室（電話：7199-8311） ・天王台地区高齢者なんでも相談室（電話：7182-4100） ・湖北・湖北台地区高齢者なんでも相談室（電話：7187-6777） ・布佐・新木地区高齢者なんでも相談室（電話：7189-0294）
				<p>交通課</p> <p>市では、平成29年から運転に不安を感じる高齢ドライバーに免許証返納のきっかけとしてもらえるよう70歳以上の運転免許証自主返納者に対して公共交通優遇制度を展開しています。令和2年7月からは、多くの皆様の声に応えるため、路線バス等割引証を2年間から4年間、タクシー利用券を2,000円分から4,000円分に拡充しました。実施内容については、広報・ホームページ・市民との会合などで周知させていただいております。</p>

54	30代	女性	<p>同じ年齢でも、個人差が大きいため一概に何歳から高齢者と判断し難いと思う。認知症は本人のみならず家族の支援も大切。市政に関して、我孫子は混みすぎておらず住むには快適と思うが、ただお店が少なく不便を感じる。ショッピングモール、ホームセンター、飲食店等、企業側も出店したいと思えるような街づくりが必要と思う。お店が増えて利便性が増せば、若い世代の転入も増えてくるかと思う。あと、我孫子から柏の葉方面へのバスが欲しい。常磐線、TXの2路線が使えるとなったら、我孫子の魅力も高まり若い世代も増えそうな気がする。</p>	高齢者支援課	<p>我が国では65歳以上が「高齢者」と定義されていますが、(今回のアンケート調査結果から)70歳ごろから高齢者だと思われる方が多いようです。</p> <p>一方、高齢者だと感じる時は、(今回のアンケート調査結果から)体力や記憶力等の身体の状況が変化したときに高齢者だと感じられる方が多いことから、同じ年齢でも個人差が大きくなる一因と思われます。</p>
				商業観光課 企業立地推進課	<p>ご意見ありがとうございます。市民の利便性向上と賑わい創出のため、商業施設の誘致は必要と考えています。現在、新たな商業用地の創出に向け、検討を重ねています。用地創出から事業者決定まで、時間がかかりますが、住みやすいまちとなるよう努めていきます。</p>
				交通課	<p>我孫子から柏の葉方面へのバスについては、路線距離が長く、途中経路においては混雑する区間も多いため、鉄道よりも時間がかかり、運賃も高額となります。現状の道路形態では、実現に向け課題が多いものとなっています。</p>
55	20代	女性	<p>我孫子市は他の市に比べてかなり高齢者ドライバーが多いと感じました。本当に運転をして大丈夫なのか?とかなり危険な運転をしている高齢者ドライバーに日常で多々出会います。なにか市としても定期的に高齢者ドライバーの適性検査等していただきたいです。</p>	交通課	<p>運転免許証は、都道府県公安委員会(警察)によって発行される運転許可を証明する公文書であり、市の権限により取消し処分等ができないものとなっています。そのため、現在、警察では、70歳以上の高齢ドライバーの免許更新時に高齢者講習の受講を義務付け、適性なドライバーかどうか審査し、更新を行っています。</p>
56	40代	女性	<p>夕方の帰宅時間を知らせる音楽(チャイム)について。10月に入り16:30に音楽が鳴るようになったが、空はまだ明るく子供が帰る気配もない。せめて寒い季節には2回(例えば16:30と17:00)に鳴らしてもらえないだろうか?</p>	市民安全課	<p>夕方のチャイムについては、1年を6期間に分け、日没時間のおおよそ30分前を目安に「夕焼け小焼け」の放送を行っており、時報としての役割も担っているため、1日1回の放送としています。季節の変わり目などにおいては、放送時間と日没時間に差がある場合もありますが、ご理解いただきますようお願い致します。</p>

57	50代	男性	<p>(1) 今後冬に向けて、コロナの更なる感染者数増加が心配です。関連して対策本部会議の詳細を知りたいです。緊急事態宣言時よりも増えてるのに、どうして月一回なのか？参加者はどなたで何時間程度の会議なのか？イメージさせて下さい。(2) 投票率低下の検証や分析はどこまで進展していますか？選挙年や選挙前年は忙しいというのなら、是非早めに取りまとめて下さい。特に20代30代の若者の政治や行政、選挙離れに歯止めがかかりません。(3) 市民アンケート調査報告書をみての感想を市民から募っては如何ですか？それ以前に、人口の見通しを含めて、もっと市民にアピールして下さい。</p>	市民安全課	<p>新型コロナウイルス感染症対策本部会議については、市長を本部長とし、副市長、教育長、水道局長、各部長、関係課長が出席しています。会議の時間は1時間程度です。また、会議の回数については、現在、月1回程度の開催とされていますが、千葉県の対策本部の開催頻度や協議内容についても参考としています。また、必要に応じて、関係課による緊急本部会議を適宜開催しています。</p>
				選挙管理委員会	<p>投票率の低下については、選挙の種別や関心度、地域特性及び有権者の年齢層等の要素が総合的に影響するといわれております。地方選挙における近年の投票率の低下は本市に限らず、長期低落傾向が続いていることから、政治への関心が薄らいでいることも影響しているものと推察できます。</p> <p>公職選挙法第6条第1項に「選挙が公明かつ適正に行われるように、常にあらゆる機会を通じて選挙人の政治意識の向上に努めるとともに、特に選挙に際しては投票の方法、選挙違反その他選挙に関し必要と認める事項を選挙人に周知させなければならない。」とされており、第2項では「選挙の結果を選挙人に対して速やかに知らせるように努めなければならない。」と、選挙管理委員会の責務として規定されております。</p> <p>選挙時の啓発として選挙時における入場整理券の発送、選挙公報の新聞折込、立候補者のポスター掲示場の設置等があり、また、常時の啓発として、高校生を対象とした主権者教育の実施、小・中学校の児童・生徒を対象にした選挙啓発ポスター及び選挙啓発標語の募集、18歳を迎えた新有権者へ選挙人名簿への登録通知はがきの発送、明るい選挙推進協議会と実施する選挙啓発物資の配布など、選挙への関心を高めてもらえるよう啓発や周知を行っており、選挙の結果に関しては選挙開票の確定後、速やかに選挙結果をホームページにて掲載しております。</p> <p>今後も、有権者の一人ひとりが政治や選挙に関心を持ち、主権者として一票の権利を大切に行使するため、啓発や制度の周知を今後も継続し、選挙結果により良く反映されるよう選挙管理委員会の責務を果たして参ります。</p>
				企画課	<p>市民アンケート調査報告書及び人口の見通しにつきましては、第四次総合計画策定の基礎資料として作成し、ホームページや行政情報資料室等で公開しています。これらに関するご意見や感想につきましては、市政へのメール等で受け付けています。</p> <p>人口の見通しにつきましては、今後、総合計画の策定状況等について広報でお知らせする際に、併せて掲載するよう検討しています。</p>

58	20代	女性	路上での禁煙者の取り締まりを強化してほしい。住宅街での車のスピードの取り締まりをしてほしい。	クリーンセンター	市では「さわやかな環境づくり条例」により、市内全域で歩きたばこや吸い殻類のポイ捨てを禁止しています。特に、歩行者が多いJR6 駅周辺は禁煙重点地区に指定しており、地図を記載した看板を設置し、路面にもシールを貼って周知しています。今後も、継続した周知を行うとともに、必要に応じて職員が駅周辺を巡回していきます。
				市民安全課	悪質な運転者に対しては、所轄の我孫子警察署に指導、警告、取締り等の強化を要請していきます。
59	70代	男性	縦割り行政の改善。課題解決のために各セクションの効率的な連携プレーを心掛けていただきたい。	総務課	第4次総合計画のスタートと合わせて、計画を着実に執行できる組織体制の見直しを進め、市民ニーズ等に即応できるよう、柔軟性・機動性を高められる組織体制の構築を検討していきます。
60	70代	男性	小中学校周辺の通学道路の白線が薄くなっているように思います。生徒の安全管理の観点からも早急な塗り直しが必要と思います。	道路課	市が管理する学校周辺の市道の白線については、児童生徒が安全に通学できるよう、優先して実施していきます。
61	30代	女性	もともと咳喘息になりやすく、咳がひどいため（熱など咳以外一切症状なし）受診したところ、問診のみで聴診器で胸の音を聞くなど一切医療行為はなかった。話を聞く限り咳喘息だろうと診断され、薬は処方されたが、問診だけで2000円とられ、コロナとはいえ、何もしてくれないので、本当に咳喘息なのか病院に不信感をもった。この薬がきかなければまた問診のみで変更すると言われた。不信感があるとはいえ、授乳中のため、市販薬を飲むわけにもいかず、病院にかかるしかないので、コロナ対策をしつつ、しっかり検査などしてもらえるように病院に徹底してほしい。	健康づくり支援課	ご意見ありがとうございます。 コロナ禍の現在においては、通常通りの診察ができずご心配をおかけしてしまう場合がございますが、ご理解くださいますようお願い致します。 なお、頂いたご意見につきましては、（一社）我孫子医師会に伝えてまいります。

62	50代	女性	<p>最近、議員さんが日々どんな仕事をしてるのかよくわかりません。そこで議会事務局に要望です。年4回の議会は市民から選ばれた議員がどんな質問や意見をしてるのかを知る「貴重な機会」です。又市長や市役所がどう回答してるのかを知る「チャンス」です。その様子は議会場に行かなくてもHPの「議会中継」で見ることができます。それを多くの市民が見るようもっと「アピール」して下さい。市民もそういう機会に触れないと議員さんについてわからないと思います。それが「投票率の低下」にも繋がります。大体議会事務局自身、毎回の「議会中継へのアクセス数」など把握されてますか？それとも把握されていませんか？</p>	議会事務局	<p>年4回発行の議会だよりで議会中継について記載し、視聴の案内をしています。掲載する内容が多岐にわたるため、毎号枠をとって記載することはできませんが、毎号1面の文中で議会中継の案内を記載し、欄外にはホームページのアドレスを記載しています。</p> <p>議会中継へのアクセス数は議会事務局で把握しています。</p>
----	-----	----	---	-------	--